

平成30年度 今治西部丘陵公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治西部丘陵公園
所在地	今治市高地町2丁目乙429-1
指定管理者	<p>名称 株式会社今治 夢スポーツ</p> <p>代表者 代表取締役 岡田武史</p> <p>住所 今治市延喜甲604-1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>今治市都市建設部 公園緑地課</p> <p>TEL : 0898-36-1563</p> <p>E-mail : kouen@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	基本方針に基づいた活動を常に意識しており、忠実に計画に沿った管理運営を行うことができました。利用者からの意見を手軽に集められるシステムを構築しましたので、今後の管理運営に活かし、さらに良い公園づくりに取り組んでまいります。	B	関係法規や仕様書、施設の設置目的をよく理解し、管理運営を適切に実行している。今後も引き続き施設の設置目的を理解し、積極的に各事業に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	環境教育プログラム利用者数が減少しました。特に市外小中学生の利用者数が大幅に減少したことから、今年度は学校訪問を再度行い、利用していただけよう話掛けをしていきたいと考えています。学習棟利用件数は前年度より微増しました。定期的に利用して下さる団体様が増加したこともあり、今年度はさらに利用が増加する予定です。学習棟内や備品を美しく保ち、繰り返し利用していただけるよう、努めていきます。	B	学習棟利用者数は微増しているが、環境教育プログラムの利用者は伸び悩んでおり、利用者の増加につながるような取組を期待する。一方、自主事業については、施設の特性を活かした多くの事業を実施し、利用者の増加につながっている。今後も利用者ニーズの把握を行い、魅力的な事業を実施するとともに周知方法も工夫し、利用者の増加につなげていただきたい。
事業収支	B	収入に関しては、環境教育プログラム利用による収入が計画より減少しましたが、学習棟利用料収入は増加しております。自主事業収入の企業研修が計画通りにかかわらず、550万円の予定が実収入は89万円程でした。その他の自主事業では計画より若干上回りました。前年度は施設の破損等がほぼなかったため、施設修繕の支出が計画より少なくなりました。スタッフで対応可能な部分を対応した結果でもあると考えます。	B	収支の会計処理については、会社と指定管理業務は独立して会計処理が行われており、予算が適切に執行されている。利用料金収入は微増であるが、自主事業収入は大幅に増加しており、積極的な取組は評価できる。引き続き、適正で計画的な執行に取り組んでいただきたい。
管理運営体制	B	野外プログラムの予約が多く、スタッフが外で活動する時間が長かったため、事務処理をアルバイトに委託し、総合的にはスムーズに業務を進めることができました。また、アルバイト採用によって勤務ローテーションも改善することができました。研修に関しては、外部主催の研修に参加し、プログラム構築のために必要なことを学びました。その学びを活かし、より深く、効果的なプログラムの検討に役立てていきたいと考えています。	B	管理運営を効率的に行うために、業務形態にあった適正な職員配置を行っており、状況に応じてアルバイト職員を雇用するなど臨機応変に対応できている。外部主催の研修に参加しているが、今後も積極的に職員研修を実施し、職員の資質向上に努めていただきたい。
管理運営業務	B	管理業務については、例年通り、スタッフ、業務委託先の協力により、利用者の方にも満足いただける整備が行えました。今年度も引き続き利用者の満足度に繋がるような整備を円滑に遂行します。昨年度は、夏季に豪雨に見舞われ、川の氾濫や足場が崩れたところなどがあり、止む無くプログラムの受け入れを一時中断することもありました。修復に多少の時間を要しましたが、委託業者と協力し、迅速な修復を心掛けました。今年度は花の種や苗、実のなる樹の植樹を検討しており、来園者が季節の自然をより楽しめる公園づくりをしていきたいと考えています。	B	仕様書に基づいた円滑な管理運営業務ができている。特に清掃業務については、委託業者だけでなく管理者も実施しており評価できる。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	<p>イベントを多数行うことで、来園者数やイベント参加者数が着実に増加しております。宣伝広告業務としてSNSだけでなく紙媒体でも発信をしましたが、様々な年代層にイベント等を効果的に宣伝することができました。イベントによっては、市外在住者の参加が半数を占めるものもありました。昨年度は小規模なイベントを多く実施しましたが、今年度はより多くの人が集まれるよう、これまでより規模を大きくしたイベントも検討していきたいと考えています。</p>	B	<p>イベント等の自主事業を積極的に行うことにより、市外からの参加者も含め公園利用者も着実に増加している点は評価できる。引き続き、自主事業による情報発信、ホームページの充実等を図り、来園者を増やす取組を行っていただきたい。</p>
その他業務	C	<p>園内巡視を毎日行い、清掃や整備に気を配っております。学習棟内も日々清掃をし、利用者には不快を与えないよう、努めています。開園から7年が経ち、トイレの汚れが目立ったことから、日常の清掃に加え、専門業者による清掃を委託しました。今年度も定期的に委託し、清潔さを保っていけるようにと考えています。</p> <p>前年度はマナーの悪い来園者が目立ちました。駐車場利用時間を過ぎても滞在し続ける利用者や、園内にゴミを放置していく利用者もあり、管理者だけでなく他の利用者にも影響がでるような事態が多々起こりました。毎日巡視を行っておりますが、それだけでは管理が難しいと感じております。また、ふわふわドームで利用者同士でトラブルが起こることもありました。</p> <p>園内の状況をより把握し管理ができるよう対処が必要と考え、今年度は防犯・監視カメラの設置を検討しております。トラブルを未然に防ぎ、来園者がルールを守って公園を利用できるよう、役立てていきたいと考えています。</p>	B	<p>その他業務は、適正に業務が遂行されている。事故防止や発生時のマニュアルをプログラムごとに作成し、安全の向上に努めている。今後も継続して緊急時に対応できる体制づくりに取り組んでいただきたい。</p>
修繕業務	B	<p>毎日の巡視の中で修繕が必要な箇所がないか、日々確認をしております。</p> <p>年間を通して、大きな破損等は特になく、業者に委託して修繕を行ったのは園路灯のみでした。職員でも対応が可能な修繕が多かったため、適時修繕を行いました。冬から春にかけてイノシシが芝を掘り返し、園内が荒れたこともありましたが、その際も職員が迅速に対応しました。</p> <p>園内に花が欲しいという要望が来園者から多くあるため、花畑をつくるための土地を整地しました。今年度には自主事業として、市民と花畑づくりのイベントを実施する予定です。</p>	B	<p>軽微な修繕については、職員が適宜対応している点は評価できる。今後も利用者の安全を最優先に、費用対効果を考え計画的に修繕を行っていただきたい。</p>
備品管理業務	B	<p>主にプログラムや仕事効率化のために必要なものを購入しました。丸鋸やジグソーは、イベント時に限らず、修繕や園内設置物などを制作する際にも利用しております。</p> <p>集塵機は、学習棟清掃のために使用しております。細かい砂を除去することができ、学習棟内をより清潔に保つことができるようになりました。</p>	B	<p>備品は必要に応じ適切に購入し管理できている。今後も計画的な購入を行っていただきたい。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	<p>来園者増加やイベント開催数の増加に伴って売上げが伸び、収入実績が計画額を上回りました。</p> <p>大きなイベント等で多くの来園が見込まれる際には、事前に業者に連絡をして商品を補充していただくようにしており、商品が売り切れになって来園者に迷惑がかかることのないように努めています。</p> <p>学習棟に設置している自動販売機内のパネルには、FC今治の試合告知の他、試合がない時期には公園内の案内も掲示することが出来、自動販売機メーカーと連携し広報としての活用もしています。</p> <p>FC今治デザインの自動販売機にすることにより、弊社独自のカラーが出すことが出来ています。</p>	B	<p>適正な対応が行なわれている。</p>
自主事業	A	<p>多岐にわたるイベントが開催できました。森育は、年間を通して予約が入り、たくさんの方に体験していただくことができました。また、外部企画のイベントから森育とのコラボレーションの要望があり、周知や活動の幅を拡げる良い機会にもなりました。</p> <p>野外活動やファミリーキャンプも年間を通して実施しました。活動場所を拡げ、今治市内の豊かな自然環境を活かしてプログラムを構築しました。市外からの参加者が多くみられ、活動の認知度が向上していることを実感しました。なお、長期キャンプの参加者は国内各地から参加がありました。</p> <p>8月に実施した瀬戸内縦断キャンプは、台風のため途中で中止いたしました。その際、参加者へのキャンセル料等が発生しました。</p> <p>また、SWITCH!の実施が計画より少なくなったため、計画額と実施額に開きができています。</p>	A	<p>公園設立の趣旨に沿った多岐にわたる自主事業を行っており、利用者からも好評を得ている。野外活動やキャンプでは、市内だけでなく市外からの参加者も多数おり、活動の認知度が向上している点は評価できる。今後も引き続き、多種多様な自主事業を積極的に行っていただきたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	A	<p>今治西部丘陵公園を守り育む会がイベント会場としても積極的に活用して下さるため、イベントをきっかけに多くの方が来園してくださいました。地域の自然保護団体や教育団体と連携してイベントも実施しました。専門家による解説があることで、より本格的な学びにつながるイベントにすることができました。星観賞のイベントでは500名を超える参加者があり、好評であったことから、今年度も継続していきたいと考えています。</p>	B	<p>地域団体と良好な関係を保ち、連携して事業を行っている。今後は、更に新たな団体との関係を構築し、情報交換や地域交流を深めていくことを期待したい。</p>
利用者アンケート	B	<p>平成31年2月よりアンケートの回答方式を変更しました。紙への記述式で実施していたものを、スマートフォンでQRコードを読み取り、開いたページで回答する方式に変更したことで、手軽に回答していただけるようになりました。回収率もあがり、より多くの声を集めることができるようになっていきます。回答の結果は、公園管理運営全般において、概ねご満足いただけていることがわかりました。挙がっている要望としては、遊具設置やイベント開催への希望が多いため、今後検討を進めていきます。整備に関しては、適時対応してきましたが、利用者の目につくときがあったことも事実ですので、迅速な対応を心掛けていきたいと考えています。</p>	C	<p>アンケート結果は、公園全体への満足度に対して満足であるとの回答が半数以上占めているが、アンケート件数が少ない。利用者の声を反映させるために、より多くの利用者からアンケートを実施していただきたい。</p>
事故・苦情	B	<p>7月の集中豪雨により、園内各所で土砂崩れが起き、業者に依頼し対応していただきました。迅速に対応していただきましたが、復旧に時間がかかったことから止む無く一時プログラムの受け入れを中止しました。3月には、プログラム参加者のケガが1件起こりました。ケガの発見が遅れたことで、帰宅後に症状悪化につながってしまいました。ケガ発生時の初期対応を見直すと同時に、ケガを把握できる仕組みを社内内で再検討し、再発防止に努めました。苦情等は特にありませんでした。</p>	B	<p>利用者からの苦情は職員が共有し、適切に対応している。引き続き、安心して利用できる施設となるよう、危険箇所の点検を十分に行い、事故の未然防止に努めていただきたい。</p>
指定管理者の経営状態			適正である。	

総合コメント

指定管理者は、今治市公園条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適切に実施されていると認められる。一方、環境教育プログラムの利用者は伸び悩んでおり、ホームページ及びSNS等を充実させることによりPR活動を行い、利用者の増加につながるような取組を期待する。自主事業においては、野外活動やキャンプなど独創的な事業を多数実施しており、市外からの参加者も多く高い評価をいただいている。年々自主事業活動の認知度も向上しているため、引き続き利用者ニーズの把握に努め、その結果を踏まえた事業を積極的に行っていただきたい。